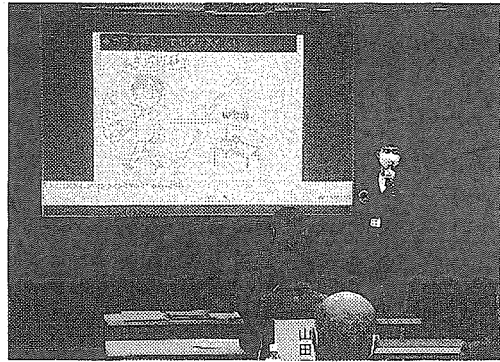


最優秀に油田さん、小野さん



発表する油田さん

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は3日、福岡

市内で「夢アイデア交流会2022」を開いた。ことは、新たに創設したジュニアの部（中学生以下が対象）16作品を含む総勢48作品の応募があり、ジュニアの部から油田悠作さんの「SDGsと海とリサイクルな街」、一般の部から小野美智子さんの「だれもとりこぼされない安心な生活ができるように『スマート四阿（あずまや）』の提案」が最優秀賞に選ばれた。

夢アイデア募集は今回で20回目を迎える。当日は、新型コロナウイルス感染症対策として対面とウェブ会議形式を併用し、1次審査

建コン協 夢アイデア交流会

を通過した計10組を対象にプレゼンテーション審査した。

油田さんは、海で拾ったごみの

量に応じて商店街で使用可能なポイントに交換するといったまちづくりを提案した。一方、小野さんの提案は、お年寄りが血圧を測って健康のアドバイスを受けたり、

日常の困りごとを相談できる小規模なスペースを歩道や公園などに設けるものだった。

講評した審査委員長の日野伸一（九大名誉教授）は「応募者の3分の1は中学生以下でどれも素晴らしい提案だった。一般の部も多岐にわたる素晴らしい提案があった。それぞれに良さがあり、課題もあるが甲乙付け難かった。今後、大きな夢を描いてほしい」とし

優秀2作品と優良6作品の発表者は次のとおり（敬称略）。

△ジュニアの部・優秀賞▽

▽川原の土地を有効活用（岩谷千桜 紀）

△同・優良賞▽

▽空き家習い事教室で子育てに優しい町づくり（本坊真瑚）

△一般の部・優秀賞▽

▽志岐の島・学園都市建設計画（山内幾朗）

△同・優良賞▽

▽福岡市のまちに親切なふるまいをこく日常的なあたりまえなものとして埋め込みたい（北嶋司）▽街との繋がりを生みだす育児世帯専用乗り合いバスの提案（造士航）▽海上ロープウェイで離島に賑わいを！（十島祐輔）▽子供だつて屋台にいきたい！屋台の街福岡（子ども屋台村プロジェクト）（遠山昭彦）▽石垣島ドローン幕張構想（石垣島に快適な空を）（安慶名賢也）